

委員会は次のとおり開催されました。

- 第1回 1996年4月16日(火)
於 藤沢市役所
- 第2回 1996年7月16日(火)
於 神奈川県立公文書館
- 第3回 1996年11月9日(土)
於 国際資料研究所
- 第4回 1997年1月14日(土)
於 国際資料研究所
- 第5回 1997年3月8日(土)
於 国際資料研究所

関東部会この一年

1996年度の関東部会の活動は以下のとおりです。

1. 総会 (第13回)

1996年5月9日(木) 於 国立史料館

2. 役員会の開催

第1回 1996年5月9日(木)
於 国立史料館

第2回 1997年2月24日(月)
於 埼玉県立文書館

3. 運営委員会の開催

関東部会の運営および事業計画は運営委員会において企画されています。この間の運営

4. 月例研究会の開催

131回より141回まで11回開催されました。本年度は、国の情報公開(要綱案)についての研究会を2回実施し、問題点についての意見交換を行いました。また、本年度より報告者公募による研究会を開催致しました。開催内容は別表のとおりです。

5. 会報『アーキビスト』の発行

会報『アーキビスト』は38号から40号まで刊行しました。内容は従来どおり月例研究会の報告が中心ですが、寄稿、図書紹介、催し物情報も掲載しています。なお本年度からは、運営委員会情報を適宜紙上公開することにし、コラム欄は39号から「史料を守る」を掲載中です。

1996年度全史料協関東部会月例研究会開催内容 (1996年4月～1997年3月)

回数	年・月・日	会場	報告者	内容
第131回	1996・4・3(木)	ブリティッシュ・ユ・カウンシル	マイケル・クック	「情報化時代の文書館」
第132回	1996・5・9(木)	国立史料館	後藤 仁 (神奈川県立公文書館)	「情報公開法と公文書管理」
第133回	1996・6・20(木)	板橋区立産文ホール	小松寿治 (板橋区史編集調査会)	「自治体史編さん室が公文書館設置までに行うべきことについて」
第134回	1996・7・30(火)	慶應義塾大学	坂井達朗 (慶應義塾大学) 西澤直子 (慶應義塾福沢研究センター)	「慶應義塾大学と福沢研究センター」 「福沢研究センターにおける資料の収集と整理」
第135回	1996・8・23(金)	埼玉県立文書館	加藤安二 (元埼玉県立文書館) 高野 修 (元藤沢市文書館)	「文書館の施設管理について」 「私の史料保存－全史料協の回顧と展望－」
第136回	1996・9・25(木)	三菱製紙中川工場		「中性紙製造工程など見学会」 (「記録史料の保存を考える会」との共催)

第137回	1996・11・9(土)	藤沢市役所	伊藤 然 (草加市史編集室) 小松郁夫 (神奈川県立公文書館) 小川千代子 (国際資料研究所)	『ICA 北京大会帰朝報告会』 「ICA北京大会プレセミナーに参加してー世界における保存の現状ー」 「施設見学会参加報告」 「大会勧告集について」
第138回	1996・12・14(土)	神奈川県立公文書館	後藤 仁 (神奈川県立公文書館) 吉見義明 (中央大学) 松尾正人 (中央大学) 田中 尚 (群馬県立文書館)	「情報公開要綱案の考え方について」 「歴史学研究会よりコメント」 「地方史研究協議会よりコメント」 「全史料協組織法制委員会よりコメント」
第139回	1997・1・18(土)	湯沢町公民館	茂木義雄 (湯沢町文化財審議委員) 伊藤一億 (新潟県立文書館)	「景観激変の中での史料保存・地域史編集ー湯沢町からの視点ー」 「新潟県立文書館における資料所在調査について」
第140回	1997・2・21(金)	埼玉県立文書館	白井哲哉 (埼玉県立文書館)	「文書館展示の実践的考察」
第141回	1997・3・12(水)	群馬県立文書館	水野 保 (東京都公文書館) 田中康雄 (群馬県立文書館)	「記録史料の階層的記述とパソコン表示についての試み」